

つぎは

第38号

発行責任者 〒062-0051 札幌市豊平区月寒東1条3丁目
北海道札幌月寒高等学校内 北海道札幌月寒高等学校同窓会
TEL (011)851-3111・FAX (011)851-3112 http://www.tsukisappu.com

題字：中川清風先生

現住所・幹事等の
変更連絡について
現住所・幹事等に変更が
あった場合は札幌月寒高校
同窓会事務局宛ご連絡くだ
さい。
●印刷所 株式会社 孔 版 社

昨年のはじめは、コロナ禍、第3波の可能性を考え、自分は大丈夫という根拠のない発想、加えて想像力のなさ、再び感染数激増となって表れてきているのだろうかと不安を書いていたが、まさか、その後の1年もコロナ禍の第4、5波とに続き、めったに聞かなかったオミクロン株に至るとは。急激な増加に戸惑いは否めない。同窓会も、これといった活動もできなかったし、恒例となっている大懇親会も2年連続中止してきた。さすがにこの状態のまま3年目というわけにはいかないと、昨年の途中からZOOMを使った役員会を開催するようになり、秋には、大懇親会を開催するよう準備に着手。当番幹事による幹事会もスタートした。世界中を巻き込んだ新型コロナの流行であるが、正しく理解して防御するということにはわからない。その中で少しずつコロナ下での対応の仕方にも変化が出てきているのではないかと。それぞれに知恵を絞ってコロナゆえの新しい取り組みにチャレンジする例も少なからず。どっこい人はたくましいものだ。

さて、繰り返された言葉ではあるが同窓生とは、同じ学校で時間を過ごした者同志が、時間を超えてつながりあうことができるシステム。何かの機会に同窓であるということがわかった途端に、年齢や立場に関係なく、一瞬でお互いの距離が近くなり共通の映像を見ていたような関係になるのだ。校舎や制服の様子は変わってしまったということもそれはそれで話題に種となる。誰もが多感で夢



コロナ禍でも同窓会

同窓会会長 開 発 好 博

21期生・昭和48年卒

を描いた青春時代を過ごした場所であり時間が今でも心の中にかげがえのないものとなって生き続けているからである。大懇親会などは絶好の同窓の絆を確かめる機会でもある。準備は当番幹事を中心に、名簿を整理したり電話を掛けたり、最近ではFBやLINEを駆使したりして秋の本番を迎える。また、母校への協力の活動をする。志ある現役生を応援する「ひまわり基金」を創設したり、全国大会に進んだ部活にはささやかではあるが支援も行ったりしている。コロナ禍の中では、ほとんどの活動は中止せざるを得なかった。しかし、こういう状況であるがゆえに新しい挑戦や方法が見つかったという人もいるだろう。この経験はいつかのために試される1年としたいものだ。同窓会があることを忘れず何ができるかを今後とも思考して行きたいと考えている。

月高の同窓生は、今年卒業の第70期334人を同窓会に迎えると27、606人となり、その多くはすでに様々な分野で活躍している。こういう時代だからこそ同窓の絆を大事にしていきたいものです。

最後になりましたが、日頃お世話になっている山本校長様、宮本副校長様、金森、木村両教頭様、佐藤事務長様はじめ諸先生方のご理解とご協力で同窓会活動が継続していけました。お礼申し上げます。そして母校が今後ともますます発展し同窓会員の皆様のご健勝とご多幸も祈念申し上げます。皆様といたします。



これからの時代を 牽引する力

校長 山 本 明 敏

同窓会の皆様には、日頃から本校の教育活動に対し多大なるご支援をいただいておりますことに、この場をお借りしまして心よりお礼を申し上げます。

今冬、札幌市内は度重なる豪雪に見舞われ、外出もままならない状況でした。そうした中、私ごとですが、新年は恒例の箱根駅伝で母校の応援を楽しみました。目まぐるしく入れ替わる順位、残念ながら期待に応えられなかった選手もいれば、期待を大きく上回る活躍をした選手もいました。どの選手も母校の轡を繋ぐと、まさに一秒を削り出す走りを展開していました。今年、中学校教員を休職して駿河台大学に編入し精神的支柱としてチームを初出場に導いた今井隆生選手が話題となりましたが、三十一歳にして夢であった箱根路を走り、教員時代の教え子に轡を繋いだ姿に感銘を受けました。

さて、新型コロナウイルス感染症は、長期間にわたり社会生活や学校生活に大きな影響を及ぼしています。学校祭は内容を縮小し辛うじて実施することができましたが、分散登校や下校時間の繰上げにより、授業や部活動は大きな制約を受けました。同窓会におかれても、二年連続で定例総会・懇親会を開催することがかなわず残念に思います。久しぶりの再開を楽しみにしていらっしゃる皆様は、さそ気を落とされておられないのではないのでしょうか。

結果、コロナ禍は時代の変化を一層押し進めることになりました。メッセンジャー・RNAワクチンや非接触などの新しい技術の開発、テレワークを経験したことによる都市部から地方への新しい人の流れ、新しい生活様式を踏まえた商品開発やビジネスチャンスなど、私たちの意識や価値観、行動様式は徐々に変わりつつあります。

このような時代を迎え、学校教育も変革を迫られています。我々教職員も、月高とはどのような学校なのか、月高には何が求められているのか、一年間かけて議論しました。そして、校訓「自主自立・親和協力」のもと、スクールミッションとして「社会を牽引する存在となるために必要な高い資質・能力と豊かな心を持つ生徒の育成」と「向学心や探究心を身に付け、自己の進路決定に向けて意欲的に学習に取り組む生徒の育成」を定めました。その上で、月高生がこれからの時代のリーダーとなる上で身に付けてほしい力として、論理力・分析力・想像力・創造力・発信力・自律力・行動力の「七つの力」を挙げました。

今後、生徒と教職員が目標を共有し、これらの力を身に付け磨いていくよう努力を惜みず、「月高」「月定」の轡を繋いでいく所存ですので、同窓会の皆様には、引き続きご支援くださいますよう、よろしくお願いたします。



同窓会によせて

南 仁

29期生・昭和56年卒

10年周期で同窓会を開いてもらっておりますが、2年ほど延びてしまいました。同窓会役員の皆様におかれましては、想像するに葛藤・苦悶の期間であったと思われれます。ご苦勞頂き誠に大変ありがとうございます。この原稿を書いている1月20日の時点で、道内で4ヶ所過去最多更新、まん防が要請されました。今後どちらに向かうかわからない状況ですが、開催できる方向に向かってくれることを切に祈念致しております。

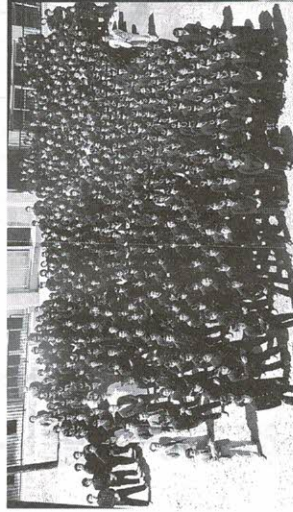
しかし、日常が日常でなくなるとはこんなにも違和感を覚えるものかと、恐ろしささえ感じます。当たり前とはなんぞや？と考えさせられます。10年に一度、だからしかたないわなあ、でも10年も前によくこの計り知れない難局を乗り越えたなあ、とも思います。東日本大震災、胆振・支庁地震もそうですが、人間の一生くらの尺度では計ることのできない地球の奥深さに改めて畏敬の念をいだきつつも、未来に続く道を模索することが課せられているということなのでしょう。今後も皆無になることは考えにくいので、医療関係に従

事される方々に有難みを感じながら、基本的な手洗い、消毒などの感染予防ルーティンをずっと継続していくことが重要なのでしょうか。

2019年10月19日(土)パークホテルで、月寒高校同窓会は開催されました。翌年2020年は私たち29期の当番となっておりますので、下見を兼ねての参加でした。同期も数人参加しており、翌年に向けてイメージを高めることとなりました、その時は：。

現在、ネットワークの広い同期女子の力強い協力もありライングループが40人ほどとなっております。今年が開催される前提ですが、2年延びたことで期せずして私たちの期はみな選層前後の集まりとなります。皆で赤いちゃんちゃんこ：は思い描いたりもししますが、どこかしらに赤いワンピースのドレスコード？でもそれなりに映えるかなとも思います。

10年ひと昔、40年よん昔(?)、ではありますが、断片的にはさほど昔のこととしてではなく思い出されます。卒業したら皆が全員集まる事はほんとに無いことなんですね。感慨深いもの



とともに一抹の寂しさも感じます。おもいでは美しく、いや美しすぎなくとも、若干手の届く？同窓会。私たち同期の人生も陸上トラックなら第三から四？コーナリーといったところで、星空の下のソーシャルディスタンスを保ちながら、学び舎をともにしたものの相集い、限られたひとときですが、今後の人生の一助、スパイスとなり、彩りをそえるものとなれば幸いです。来るべき日はよそ様に迷惑はかけないのは暗黙の了解ですが、大人であることをいつとき忘れて：。ベイビカムバック！



月寒高校との縁

大 浦 充

30期生・昭和57年卒

同窓会誌「つきさつぷ」38号の発行に当たり、お力添えをいただいた皆様に心より感謝申し上げます。また、役員の皆様、担当された関係者の方々は編集作業等、ご苦勞様でした。

次年度、当番幹事期を迎え原稿を依頼されました。33度目の寄稿になります。30年ほど前に寄稿した際に掲載していただいた写真には、妻と幼い頃の息子2人とともに写っておりました。現在は4人とも同窓生となり不思議な縁を感じます。

月寒高校には、とても深い縁があります。私を含め、合計8人の親族が月寒高校を卒業しました。特に私は高校在学の三年間のほかに教育実習、時間講師でもお世話になり、その後12年間教諭としても勤務させていただきました。私の人生のとても長い時間を過ごしました。

その時々で、語り尽くせない程多くの思い出がありました。その中でも教諭として過ごさせていただいた時に、バスケットボール部の顧問として2011年秋、田舎、2013年大分県の22度、インターハイに出場することが出来たことは、大変な喜びでありました。生徒とともに多くの時間とエネルギーを費やしたこと

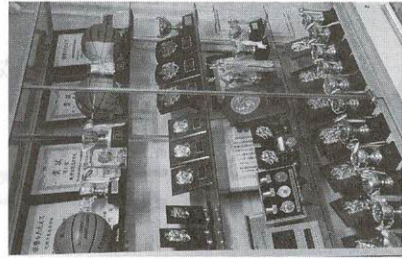
が報われた瞬間でした。当時の「つきさつぷ」にも取り上げていただき、出場を果たした選手・保護者の皆様には改めて感謝申し上げます。また、多くのOBからも御支援や励ましのお言葉をいただきました。その年に行われた同期会では、その場で声をかけてくれた同期生達に、多くの支援をいただき遠征費の補助とさせていただきます。ここでも同窓生の絆を感じました。部員の数も多かったため遠征費の捻出に苦勞していったのが大変助かりました。残念ながら、全国大会で勝利することが出来ませんでした。が、貴重な経験をさせていただきました。インターハイに出られなかった世代も、大変優秀な選手が多く在籍し全道大会で活躍していました。現在も多くのOBが活躍しています。また、OBチームも誕生し、今でも多くの卒業生との交流を楽しんでおります。

さて、私が高校生として通学していた頃は、現在の校舎に建て変わっていく最中で、一部レング色の校舎が、まだ残っていました。夏は暑く冬は寒いプレハブ校舎で1年間過ごしたことも、今となってはいい思い出です。地下鉄東豊

線も開通しておらず、多くの生徒はバス通学でした。近隣のマンションも無く、生徒玄関からは藻岩山がきれいに見えていたように記憶しています。現在のようなコンビニはありませんでしたが、学校の近くに商店があり、部活の帰りに立ち寄り、雑談をしていました。高校生活では、嫌なことや残念なことも沢山あったはずですが、思い出されるのは楽しい思い出ばかりです。

月寒高校に関わった全ての期間で、「人」に恵まれたと思います。それは同級生であり、同僚であり、教子であり、全ての関係者です。これは、月寒高校が持っている言葉には表現しにくい文化・風土が関係しているのかもしれない。色々ご迷惑をお掛けした人々もいらっしやると思いますが、この紙面を借りてお詫び申し上げます。

これから、この文化を継承しながら月寒高校および同窓会が益々発展することを願っています。





「繋がり」

佐々木 貴志

40期生・平成4年卒

今からちょうど10年前(正確には11年前)に行われた平成23年度札幌月寒高校同窓会に参加させていただきました。恥ずかしながら、この時初めて母校・月寒高校の同窓会というもの

…卒業して10数年経ったある日、在校当時から野球部とサッカー部の主将という共通点もあり、卒業してからも『繋がり』があった友人がふとした会話の中で、「野球部の同期が監督として月高に戻ってきたみたい。」と話していました。

その時は何気なく聞いていました。

…そして数か月が経ち、いつものように月高の近くの国道36号線を車で通行中にふと、「そういえば監督やっつるんだよなあ。」と。

ふらっとグラウンドに立ち寄って懐かしい練習風景を拝見させていただきました。するとほんのりですが、

確かに見覚えのある顔がベンチから出てきました。練習終わりに声をかけ、近況を報告して連絡先を交換して『繋がり』しました。

…そして数年後、その『繋がり』から札幌月寒高校同窓会を知りました。

幹事会から始まり、卒業から20年近く経過している懐かしいクラスの仲間や共に戦った部活動の盟友などに連絡を取り、『繋がり』が『繋がり』何とかその日を迎えることができました。そしてまたその『繋がり』からクラス会へと発展し、さらなる『繋がり』を生み出しました。

この同窓会の年、2011年(平成23年)というのは東日本大震災という未曾有の災禍が起きてしまった年です。日本全体が復興に向け『繋がり』を強く意識をし、これまでもこれからも全て忘れず心の内に持っていて今を生きる。と強く誓った年でした。

そして10年経った現在はコロナウイルスという新たな困難が発生いたしました。

人々が距離を置いて暮らすという10年前とは正反対の生活を余儀なくされています。

辛く悲しく寂しい状況です。

しかしこれまで培ってきた『繋がり』は決して色褪せることなく強くはつきりとした色彩の『絆』として人々を結び付けている事でしょう。

ふとした日常から『繋がり』が『絆』になりました。

これからもこの『繋がり』を意識し、『絆』を感じて生きていきたいと思えます。

今年また、同窓会に携わらせて頂けることに幸せを感じ、また多くの『繋がり』ができることを期待してわづかながら尽力させていただきます。

末筆にはなりますが、同窓会事務局の方々には格別のご深慮を賜り、厚く御礼申し上げます。

ありがとうございます。

「変わらないもの」

月高生として過ごした日々
の忘れかけていた記憶が鮮明に蘇ったのは、自分が教員という立場で母校に帰ってきた時でした。高校時代に何気ない毎日を過ごした校舎は、それから二十年あまりが経ったのに、校門をくぐり抜け再び一歩足を踏み入れたその時から突如タイムスリップしたかのよう
に、当時のままの光景を呼び戻してくれました。「自分はこの月高で再び過ごすのだ。今度は教員という立場で。今度は生徒たちに何かを還元していく番だ。」そう感じ、校舎内を一周しました。当時と変わらないあの複雑な造り、あちらこちらから響き渡る部活動の声、暖房はスチーム管がむき出しで今にもシューシューと音が聞こえてきそうな教室、目に飛び込んでくるもの全てが「懐かしい」の一言でした。

新学期が始まると慌たしさの中、同窓会の活動を改めて知ることにまりました。卒業してから自分と月高の間には「空白の二十年」が存在し、その間も同窓の方々が絆を深めてくれてい

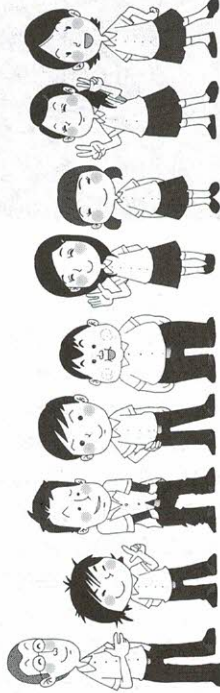
ただと感じる日々が続きました。年に一度の大懇親会はもちろんですが、同窓会人会式の開催、卒業式へのご臨席、部局活動の全国大会への応援・助成など様々な面でご尽力頂いていたことを改めて知ることができました。そうしていつの間にか「空白の二十年間」は「月高」を中心に様々なものがひとつにつながり、もはや空白ではなくなりました。さらに奇遇にも、現在は異動先の学校で当時の卒業担任と肩を並べて働かせて頂いております。しばしば月高での思い出話に花を咲かせ、当時を懐かしむ事ができるのも「月高」というつながりのお陰です。

思い出話をしていて感じるのは、月高生の気質そのものは私が過ごした時代から、おそらくそのもつ前から変わっていないということです。一生懸命に打ち込む際の集中力、ここぞと言うときにしっかりと力を発揮するたくましさ、明るく元気な雰囲気や場を盛り上げる協調性と行動力、月高の魅力は健在でした。そのような伝統ある母校に直

に携わる事ができたことは私の中で大きな喜びです。また、同窓会事務局という立場で円滑に事業を進められるようお手伝いさせて頂く中で新たな発見もあり、様々なことを学ばせて頂く貴重な機会となりましたことに感謝申し上げます。末筆ではございますが、今後とも月高同窓会のさらなる発展をお祈り申し上げます。

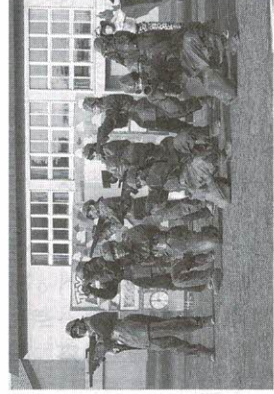
櫻井 絵夢

44期生・平成8年卒





クラスパフォーマンス観戦



クラバ優勝クラス (3-4)

生徒会活動報告

第六十九期生徒会長
上島 皓久

この場をお借りしまして、同窓会の皆様に生徒会活動のご報告をさせていただきます。昨年度は新型コロナウイルス



クラスパフォーマンス (3-3)

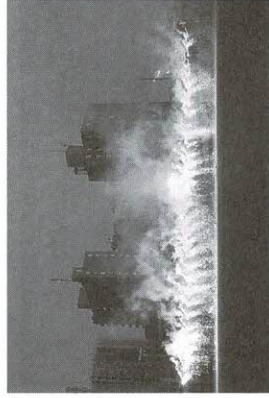


学級旗 (3-4)

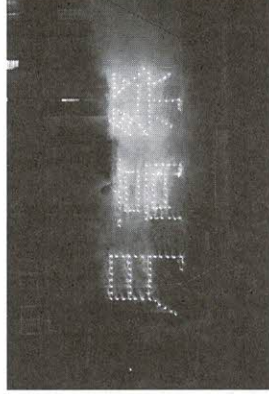
ルスの影響により、多くの行事を開催することができませんでした。しかし、今年度は規模を縮小した形ではありましたが、無事月高祭を開催することができました。

月高祭の目玉であるクラスパフォーマンスでは、短い準備期間にもかかわらず、各クラスの発表は個性を最大限に生かしたものとなり、例年以上の盛り上がりを見せました。

また、今年度は例年とは異なり、後夜祭の一環とし



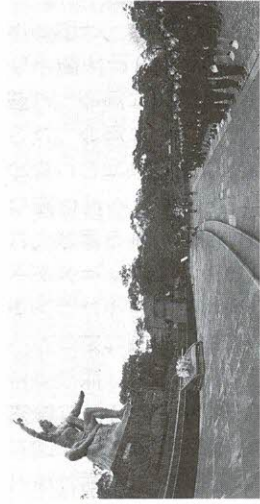
仕掛け花火 (ナイアガラ)



仕掛け花火 (文字)

て花火を行いました。その夜、共に励んできた仲間と見た花火は、今までに見たどの花火よりも綺麗でした。さらに、月高生だけでなく、地域の方々とも楽しむことができ、最高の形で月高祭を締め括ることができました。

役員一同、今後も月高のより良い学校づくりに精進して参りますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。



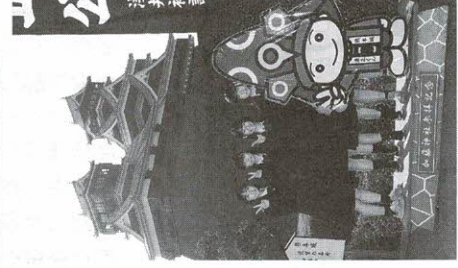
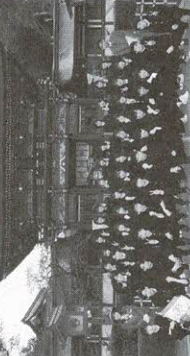
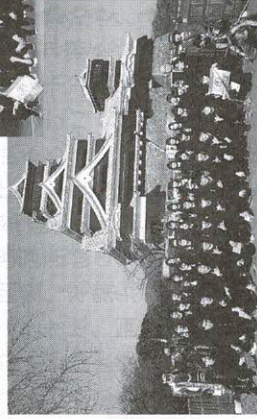
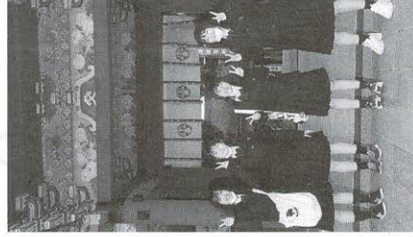
見学旅行に参画して

三年八組 小西 希実

初めての九州は目を引くものばかりだった。

三月なのに暖かく、熊本に住むのは瓦屋根。札幌とは全然違う街並みや景観はとても新鮮だった。普段とは違う復旧中の熊本城を見ることが出来たこと、阿蘇山の火口まで行けたこと、本

当に運が良かった。私が一番印象に残っているのは、長崎の原爆資料館



だ。実際に原爆が投下された場所を見学し、また当時の人々の様子の写真や映像などを見た。あまりにも衝撃的すぎて、言葉が出なかった。たった今世界中のあらゆる場所において戦争などで苦しんでいる人が多くいて、私たちが今、過ごしている日常は当たり前なことではないと改めて考えさせられた。

本来なら関東・関西に行くはずだったが、行き先は九州。

「九州か。あまり楽しくなさそう。」正直、初めはそう思っていた。しかしこの作文には書ききれないくらい楽しい友人との思い出ができ、また、とても学びの多い見学旅行だった。新型コロナウイルス感染の状況が大変な中で、こんなに貴重な経験が出来たのは先生方や旅行会社の方、保護者など、たくさんの方々のおかげです。ありがとうございました。

全国大会参加報告

ハンドボール部

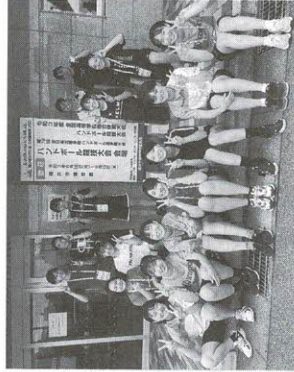
インターハイに参加して

三年 三浦 和華

私たち女子ハンドボール部は、6月に室蘭市で開催された全道大会で優勝し、8月福井県で行われたインターハイに二大会連続11回目の出場をいたしました。

結果は一回戦で福岡県代表に敗れ、「インターハイで一勝をあげる」という目標には届きませんでした。ですが、全国レベルのチームを相手に日頃大切にしてきた堅守速攻と状況判断で『月寒らしさ』を失うことなく最後の最後まで全力を尽くすことが出来ました。また、全国大会ならではの熱気とレベルの高い試合を存分に味わうことのできた貴重な経験になりました。

コロナが流行してから「いつ最後の部活になるか



分からない」という不安や自由に活動できない苦勞があったのですが、変わらず応援してくれる方々がいて、こんな状況でも練習を認めてもらえる環境があって、たくさんの方の協力のおかげで全国の舞台まで勝ち上がることができました。

ハンドボール部に関わってくださる全ての方々に心から感謝しています。

これからも月寒高校ハンドボール部はより努力し進化していきますので、応援よろしくお願いします。

月定「月寒高定時制」より

進学に向けて

四年 川島 果鈴

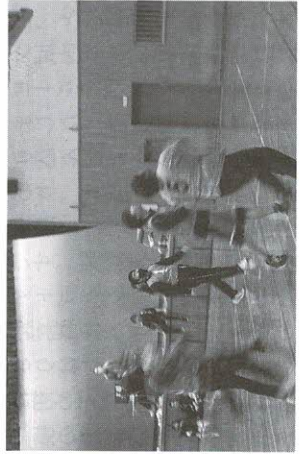
私は三年生の初め頃まで卒業後の進路は就職を希望していました。この仕事をやりたいから、ということではなく家の事情で進学が難しい、そしてアルバイトが楽しく早く働きたいという気持ちが強かったからです。そんな中、井上先生の授業で給付型奨学金の存在を知りました。無理だと思っていた進学をする、という選択肢が増え専門学校や大学を調べている内に「二、四年通って資格を取る方が良いのではないか」と気持ちに変化し、自分の進路を就職から進学へ変更しました。

四年生になり、どこの学校に進学するのか具体的に自分自身でしっかりと決めなければいけない時期になりました。元々この仕事をやりたい、という気持ちがなかった私はここで苦戦しました。先生に相談して、自分と向き合い、たくさん悩んだ結果、「福祉の世界で働いてみたい」と思うようになり、最終的に北星学園大学の社会福祉学部を受けると決めました。

そこからは私も先生も大変な日々が続きました。受

けることを決めたのがギリギリだったこと、そして一次試験である事前課題の内容が難しく、毎日課題とにらめっこ。福祉の仕事について調べたり、先生に相談したり、試行錯誤を繰り返してなんとか課題提出日に間に合うことができました。事前課題を提出した後も、二次試験まで残り一ヶ月の間で小論文、面接に向けて努力しました。他の大学の過去問を引っ張ってきて小論文に取り組んだり、先生に添削してもらったり、面接練習も先生に付き合ってもらい、試験本番、上手くいった手心えが全くありませんでしたがなんとか合格することができました。

無事合格した今、改めて努力することの大切さと、受験を機に過去の自分とも



向き合えたこと。そして何より、全力でサポートしてくれる人がいるという事、心強さを学ぶことができました。もし落ちていたとしても私は受けてよかったなと思っていたと思います。今、進路が決まっていなくても「ここに行きたい」と思った時にどれだけ頑張れるか、そして周りを頼れるかというのは大事だと思います。私のように家の事情で進学を諦めている人も中にはいるかもしれませんが、給付型奨学金という制度があるのでぜひ活用してほしいです。

就職までの道のり

四年 半澤 花音

「仕事内容さえ選ばなければ、就職できるだろう。」私はそんな安易な考えで四年目を迎えていました。しかしコロナ禍ということもなし求人数に私は焦りました。そこで改めて、自分はどんな人間で、どんな仕事なら頑張れるのかを考えたときに、人付き合いが苦手な私は当初からの第一希望である工場や製造業に就職することに決めました。ですがほとんどが男性向けで選べるような数もなく、再び考えに考えた結果、過酷な世界ではありますが、介護職は私に向いているな、



と気付きました。

元々こういう仕事をしたというのではなく、どんな仕事なら自分は社会で役に立つかと考えたときに、自分の性格の「人の立場に寄り添い話を聞く」という長所を生かすことが出来る介護職がぴったりだと思ったのです。職種が決まった私は進路の先生にそれを相談したところ、介護関係の企業の方と協力をしながら最適な施設を探してくれることになりました。そして進路の先生と密に連絡をとりながら、幸運なことに家の近くに評判の良い施設があったため、職場見学に行くことにしました。実際に現場を見に行くと、パンフレットにも書いていた通りとてもアットホームな空間で、案内してくれた職員の方や施設長さんの人柄に惹かれ、ここしかない、と決断しました。いよいよ面接当



最後に、この楽しい見学旅行を行ったのは、先生方、添乗員の方、バスガイドさん、クラスメイトのおかげだと思っています。たくさん感謝、人間の温かみを実感できた見学旅行でした。

小さな魚など、とても多くの魚たちがいました。特にジンベイザメはすごく大きく迫力がすごかったのを記憶しています。とてもいい体験ができました。

へ行きました。僕はこれを一歩楽しみにしていました。ジンベイザメやペンギンや

た。

は多く、最初はあまり気が乗らなかったのですが、着いてみると可愛いキャラクターや綺麗な街並み、明るくておもしろいキャストさんなどに魅了されていました。

人は多かったと思います。僕は遊園地があまり好きではなく、最初はあまり気が乗らなかったのですが、着いてみると可愛いキャラクターや綺麗な街並み、明るくておもしろいキャストさんなどに魅了されていました。

令和3年度 定時制の1年

【1学期】

- 4月8日(木) 着任式・1学期始業式・入学式・PTA、後援会入会式
- 4月9日(金) 対面式・生徒会オリエンテーション
- 4月19日(月) 生徒総会、役員認証式
- 4月27日(火) 身体測定
- 5月7日(金) 授業参観・後援会役員会、総会
- 5月11日(火)～14日(金) 1学期中間考査
- 5月21日(金) 交通安全講話
- 5月29日(土)・30日(日) 定通体連石狩支部バドミントン大会(札幌北高校)
個人 3年 久保 侑紀 君 準優勝→全道大会進出
- 5月29日(土)・30日(日) 定通体連石狩支部バスケットボール大会(札幌南高校)
第3位
- 6月1日(火) 開校記念日
- 6月19日(土)・20日(日) 定通体連バドミントン全道大会(旭川東高校)
個人 3年 久保 侑紀 君 第3位
- 6月22日(火)～25日(金) 1学期期末考査
- 6月28日(月) 防犯教室
- 6月29日(火) 歯科検診
- 7月8日(木) 映画鑑賞(エナイテッド・シネマ札幌)
- 7月9日(金) 遠足(ルスツリゾート)
- 7月16日(金) 避難訓練
- 7月21日(水) 1学期終業式

【2学期】

- 8月17日(火) 2学期始業式
- 8月27日(金) 基礎学力(計算)コンクール
- 9月28日(火)～10月1日(金) 2学期中間考査
- 10月10日(月) 生徒会役員選挙
- 10月20日(水) ワークルール基礎講座
- 10月23日(土) 定通体連石狩支部バドミントン新人大会(札幌北高校)
団体 優勝
個人 3年 久保 侑紀 君 準優勝
- 10月28日(木) 学校祭(ボウリング大会(テイノスボウル白石)

- 10月29日(金) 性に関する講話
 - 11月2日(火) 内科検診
 - 11月6日(土)・7日(日) 定通体連石狩支部バスケットボール新人大会(札幌南高校)
第3位
 - 11月9日(火)～12日(金) 見学旅行(3・4年合同実施)(京都・奈良・大阪)
〔1日目〕新千歳空港(集合)→伊丹空港→清水寺→ホテル
〔2日目〕ホテル→奈良公園(南大門→東大寺)→嵐山
→京都半日自主研修→ホテル
〔3日目〕ホテル→ユニバーサルスタジオジャパン→ホテル
〔4日目〕ホテル→海遊館→伊丹空港→新千歳空港(解散)
 - 11月10日(水) 2年生ハローワーク訪問
 - 11月11日(木) 1年生ハローワーク訪問
 - 11月24日(水)～29日(日) 2学期期末考査
 - 12月2日(木)・3日(金) 体育大会
 - 12月16日(木) 基礎学力(漢字)コンクール
 - 12月17日(金) 避難訓練
 - 12月21日(火) 就職内定式
 - 12月24日(金) 2学期終業式
- ### 【3学期】
- 1月18日(火) 3学期始業式
 - 1月20日(木)・21日(金) 進学就職報告会
 - 1月26日(水)～28日(金) 4年生学年末考査
 - 1月31日(月) 予餞会
 - 2月21日(月)～25日(金) 1・2・3年生学年末考査
 - 3月1日(火) 卒業証書授与式
 - 3月3日(木) 入学者選抜試験
 - 3月17日(木) 進路出前講義
 - 3月18日(金) 進路出前授業
 - 3月24日(水) 3学期終業式・離任式

北海道札幌月寒高等学校同窓会会則

第1章 総 則

- 第1条 本会は北海道札幌月寒高等学校同窓会と称し、事務局を本校におく。
- 第2条 本会は次の会員をもって構成する。
 - 1. 正会員 本校卒業生及び本校に在学したもので役員会において承認されたものとする。
 - 2. 名誉会員 本校の現職員及び旧職員とする。
- 第3条 本会は会員相互の親睦を図り教養を高め、あわせて母校の発展に寄与することを目的とする。
- 第4条 本会は前条の目的を達成するため次の事項を行う。
 - 1. 会員相互の連絡
 - 2. レクリエーション
 - 3. 会誌及び会員名簿の発行
 - 4. 母校の後援
 - 5. その他の目的を達成するために必要と認められる活動

第2章 役 員

- 第5条 本会に次の役員をおく。
 - 1. 顧問 若干名
 - 2. 名誉会長 1名
 - 3. 会長 1名
 - 4. 副会長 若干名
 - 5. 幹事長 1名
 - 6. 副幹事長 若干名
 - 7. 会計 2名
 - 8. 会計監査 2名
 - 9. 書記 若干名
 - 10. 幹事 若干名
- 第6条 役員
 - 1. 名誉会長は本校長を推す。
 - 2. 会長、副会長、幹事長、副幹事長及び会計監査は役員会において正会員中より選出し総会において承認する。
 - 3. 書記は会長が委嘱する。
 - 4. 幹事は、卒業各期より各クラス1名を選出する。
 - 5. 顧問は、会長が委嘱する。ただし少なくとも1名は現職員とする。
- 第7条 役員
 - 1. 会長の任務は次のとおりとする。
 - 2. 副会長は、会長を輔佐し、会長に事故のあるときは、その職務を代行する。
 - 3. 会計は、本会の会計をつかさどる。
 - 4. 幹事長は、幹事を主宰する。
 - 5. 副幹事長は、幹事長を輔佐する。
 - 6. 会計監査は、本会の会計を監査する。
 - 7. 書記は、本会の庶務をつかさどる。
 - 8. 幹事は、幹事会を構成し、また、当該クラスの会員の連絡等に当たる。
- 第8条 役員
 - 1. 会長、副会長、幹事長、副幹事長及び会計監査の任期は2年間とする。ただし、再選は妨げない。

第3章 機 関

- 第9条 本会の目的を達成するため次の機関をおく。
 - 1. 総 会
 - 2. 役員会
 - 3. 幹事会
 - 4. その他
- 第10条 総会は本会の最高決議機関である。
 - 毎年、原則として年1回定例総会を開催する。
 - 臨時総会を開催することができ、
 - 1. 会長が必要と認められた時、
 - 2. 幹事の3分の1以上、もしくは正会員の10分の1以上の連署による要求があった場合、
- 第11条 総会において、次のことを行う。
 - 1. 会務の報告
 - 2. 役員改選
 - 3. 決算報告及び予算案の審議
 - 4. 事業計画の審議
 - 5. その他の必要事項の審議
- 第12条 役員会は、総会に準ずる決議機関として開催する。
- 第13条 役員会は次のことを行う。
 - 1. 総会提出議案の作成
 - 2. その他会長から委任された事項の審議
 - 3. 事業計画の立案
 - 4. 予算の作成
 - 5. 役員会の選出
- 第14条 幹事会は次のことを行う。
 - 1. 会長から委任された事項についての審議
 - 2. その他、必要な事項の審議
- 第15条 会長または役員会は、必要と認める機関を設けることができる。
- 第16条 第9条に掲げる機関における議事は、出席正会員の過半数でこれを決する。可否同数の場合は、議長の決することによる。
- 第17条 本会の経費は、会費、寄付金、及びその他の収入をもってあてられるものとする。本会会費は正会員1名に5,000円とし、入会の時にこれを納入しなければならない。
- 第18条 役員会が必要と認め、さらに総会がこれを承認した場合は臨時に会費を徴収することができる。
- 第19条 本会の会計年度は、4月1日より翌年の3月31日とする。
- 第20条 会計細則は別に定める。
- 第21条 本会則は昭和56年8月23日より施行する。
- 第22条 本会則は令和3年2月～令和4年1月受付分)

附 則

- 平成4年8月21日会則一部改正
- 平成15年10月24日会則一部改正
- 平成20年10月18日会則一部改正
- 平成29年10月3日会則一部改正
- 令和2年11月5日会則一部改正

ご協力ありがとうございました

文化体育後援会 (全日制) ・後援会 (定時制) 助成及び郵便協力費にご賛同いただいた方です。

昭和38年卒 伊藤 信行 さん (令和3年2月～令和4年1月受付分)

2022年度 第43回同窓会定例総会・懇親会のご案内

当番幹事は29期(S56卒)・30期(S57卒)・39期(H3卒)・40期(H4卒)

49期(H13卒)・50期(H14卒)・59期(H23卒)・60期(H24卒)です

◎2022年9月24日(土) 18:00より (受付開始 17:00より)

◎札幌パークホテル (中央区南10条西3丁目)



多くの同窓生が集える会にしようとして、役員・幹事ともども努力しております。同窓会には当番期以外の卒業期の皆さまにもぜひ参加していただき、世代を越えた交流ができれば幸いです。皆さま是非お誘い合わせのうえご参加ください。また、二次会をそれぞれのクラス会や同期会として設定していただく案もあろうかと思えます。総会・懇親会への出席が増え、さらに楽しく盛大な会になるよう役員、当番幹事ともに頑張りますのでよろしくお願いたします。

令和2年度 同窓会事業報告

[2021年2月1日～2022年2月28日]

Table with columns: 年月日, 区分, 内容, 内容. Contains a detailed list of events from February 2021 to February 2022, including alumni meetings, dinners, and various committee activities.

令和2年度 会計収支決算書

[令和3年3月31日現在] (単位:円)

Income Statement Table for FY2020. Columns: 科目, 予算額, 決算額, 増減(△). Rows include previous year balance, expenses, and total income.

支出の部

Expenditure Statement Table for FY2020. Columns: 科目, 予算額, 決算額, 増減(△). Rows include communication, commemorative items, printing, and other expenses.

(収入決算額) (支出決算額)
¥6,458,258円 - ¥1,089,106円 = ¥5,369,152円

令和3年度 中間会計収支決算書

[令和3年11月30日現在] (単位:円)

Income Statement Table for FY2021 (interim). Columns: 科目, 予算額, 決算額, 増減(△). Rows include previous year balance, expenses, and total income.

(収入決算額) (支出決算額)
¥7,856,222 - ¥1,089,106 = ¥6,767,116円

令和4年度 同窓会事業計画

- 1. 会員相互の連絡をより緊密にする。
①大懇親会には、より多くの会員に出席してもらおうにする。
・案内範囲の拡大(定時制、幹事期への案内を検討する)
・その他過去の幹事になった方々や新会員(新幹事)になった方々への対応を検討する。
②同窓会会報『つきさっぷ』第39号を発行し、広く配布する。
③社会的に母校の栄誉を高めるため活動した会員に同窓会褒賞を授与する。
・選考方法、選考基準などから検討を開始する。
④上記の①から④について効果的、効果的に行うため同窓会委員会名簿の充実を図る。
・名簿のデータの電子化を促進する。
⑤総会の運営を円滑にするため、当番幹事を決め会議を開催する。(次年度は 29/30期・39/40期・49/50期・59/60期)
⑥同窓会公式ホームページの維持・内容の充実を図り、次世代の同窓会会員との情報共有拠点となるようにする。
・HPのリニューアルと更新作業に取り組む。
⑦事業の計画を迅速、効果的に実施できるよう役員会組織を改編し、役員会を事態に応じて随時開催する。
2. 母校への後援を行う。
①文化体育後援会(全日制)・後援会(定時制)への助成を行う。
②全国大会・国体、またはそれに準じる権威のある大会に出場する在校生の活動を助成する。
・壮行会にてお渡しする。
③「月寒丘ひまわり基金」審議会に参加する。
3. 同窓会入会式を挙行し、新会員(卒業生)へ記念品を贈呈する。
・記念品を検討する。
4. その他
①同窓生として繋がることのできる同窓会を目指し、活動の充実を図る。
②その他

記念事業積立金収支決算書

(単位:円)

Table for Memorial Fund Balance Sheet. Columns: 繰越金, 令和3年度利息, 令和3年度積立金, 令和3年度支出, 令和3年度現在高. Values: ¥8,491,987, ¥7,088,175円, ¥500,000, ¥0, ¥8,991,987

会計監査報告

令和2年度北海道札幌月寒高等学校同窓会会計について経理並びにその関係書類について監査の結果、適正に処理されていることを認めます。
令和3年5月15日
会計監査 栗田 靖子

令和4年度 中間会計収支決算書(案)

[令和4年1月31日現在] (単位:円)

Income Statement Table for FY2022 (draft). Columns: 科目, 4年度予算額, 4年度繰越金, 費, 文体・郵送助成金, 雑収入, 合計. Values include ¥6,673,175, ¥1,490,000, ¥150,000, ¥38, ¥8,313,213

支出の部

Expenditure Statement Table for FY2022 (draft). Columns: 科目, 4年度予算額, 4年度繰越金, 記念品代金, 印刷費, 広報費, 記念事業費, 予備費, 記念事業積立金, 役員会運営費, 合計. Values include ¥450,000, ¥360,000, ¥700,000, ¥550,000, ¥100,000, ¥350,000, ¥100,000, ¥5,133,213, ¥70,000, ¥8,313,213

